

4月2日成田氏メールの質問への回答

2020年4月7日

- ・ 動物取扱業を管轄する環境省として、動物取扱業者むけの、新型コロナウイルス感染者のペット（愛護動物）の扱いに対するガイドラインのようなものは作成しないのか。（現状では作成できる状況にないことを口頭で説明）
- ・ 協会に寄せられている相談
 - 検査で陽性と診断された、療養（入院でしょうか？）中自宅に通って犬の管理をお願いしたい。（出張管理）
：東京都獣医師会の「新型コロナウイルスに感染した人が飼っているペットを預かるために知っておきたいこと(Ver. 1)」にもあるように、感染者の自宅に通って犬の管理をすることは控えたほうが良いと考えます。飼い主が陽性とのことなので、飼い主の保持していたウイルスがうつる可能性があるためです。
 - 飼い主が入院中、しばらく面倒が見られないため預かってほしい。（一時預かり）
：ペットに症状がないのであれば、適切にシャンプーをしてから預かることを東京都獣医師会は推奨しています。（シャンプーをする必要はないという AVMA（米国獣医師会）の報告もある。）
 - 飼い主が死亡、他の家族も感染している可能性がある。これ以上面倒が見られないため、飼い主を探してほしい。（譲渡希望）
：飼い主が新型コロナに感染しても、飼い主から犬や猫のペットに感染した例はほとんどないため、飼い主は責任をもってペットを飼養してほしい。また、飼養が困難な場合は、通常どおり自身で引取先を見つけてほしい。
 - 万が一自分がコロナになり、入院した場合、犬を預かってもらえるか。（一時預かり）
：犬に何らの症状がない場合はシャンプー後に一時預りが可能と考えます。（シャンプーをする必要はないという AVMA（米国獣医師会）の報告もある。）
 - スタッフの感染が判明した場合、当人が直接に扱っていた犬のお客様にどのように連絡や説明を行えばよいか。（業者→飼い主への説明）

：まずは感染した本人が保健所に相談して指示を仰いでください。
扱っていた犬はシャンプー後 2 週間程度の様子を観察することが必要な旨を告げることも大切です。（シャンプーをする必要はないという AVMA（米国獣医師会）の報告もある。）

注意：ペットを一時的に預る場合は、預りにかかる費用、条件、引き取らない場合の所有権の放棄、預りの期間等に関する契約を交わすことも大切と考えます。

今のところ動物取扱業者への業の自粛要請は出でていないと思うが・・・。
しかし自然災害時と同様に、感染が広がるにつれ、人命（飼い主）にかかわる要望が増加している。

ガイドラインへの記載事項（要望）

- ◆ 取扱業者が行うべきサービスの範囲（自粛要請・都市封鎖時などの想定と飼い主からの要請）

ペットホテルのオーナーの意思は十分に尊重したうえで、動物愛護および人道的な観点から、感染した飼い主から要請があった際には、症状が出ていないペットについて、ペットホテルでの預かりを可能な限りご検討いただきたいと考えます。ただしペットに何らかの症状が出ているときは獣医師に事前に連絡してから見せて、指示を仰ぐようお願いします。

ただし都市封鎖などが行われた場合は、おそらく必要最低限の業態のみの運営が許可されることになると思われる所以、ペットサロン（トリミング）は閉鎖をもとめられる可能性もあると思われます。

- ◆ 具体的な管理方法：犬・猫を預かる方法、飼い主とトリマーとの距離、受け取り方法、シャンプーの方法、防護服の必要性
(以下に記載がありますので、参考にしてください。)

東京都獣医師会

- トップページ

<https://www.tvma.or.jp/public/2020/02/post-66.html>

- 飼い主さんに向けて（新型コロナウイルス Q&A）2020年3月28日時点の情報
<https://www.tvma.or.jp/public/items/1-20200328%28Q%26A-4%29.pdf>
- 新型コロナウイルスに感染した人が飼っているペットを預かるために知っておきたいこと(Ver.1) 2020年4月5日時点の情報

<https://www.tvma.or.jp/public/2020/04/post-72.html>

WSAVA（世界獣医師会）<https://wsava.org/news/highlighted-news/the-new->

[coronavirus-and-companion-animals-advice-for-wsava-members/](#)

コロナウイルスから自分とほかの方々をいかに守るか（米国CDC）

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/faq.html#2019-nCoV-and-animals>

- ♦ 飼い主との濃厚接触でウイルスがついている危険性は？ 預かりでの人・他の動物への感染リスクはあるか

新型コロナウイルスに感染した飼い主との濃厚接触によって、犬や猫にウイルスがついている可能性がありますが、症状がない場合は外部に付着したウイルスをシャンプーで落とすことができます。（シャンプーをする必要はないという AVMA（米国獣医師会）の報告もある。）これまでにペットから人に新型コロナウイルスが感染した例はありません。また実験では猫から猫に感染がおこる可能性があるという結果を公表した人もいますが、たとえ感染するとしてもそのリスクは非常に小さなものだと考えられています。

- ♦ 万が一犬を預かった事からスタッフが感染した場合、お店はどのような責任を負うことになるか。

責任の所在等については弁護士（顧問弁護士がいれば相談しやすいでしょう）などにお聞きいただきたいと思いますが、犬から人に感染した例はなく、感染しないために想定しうる範囲での配慮やスタッフへの指示、事前の説明や本人の承諾などが重要になってくると思われます。